

情報交差点・心と心の交わり

# あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

自然の恵みと先人達の教えを肌で感じて…

今年も大漁♪

塩屋小 わくわく塩屋っ子タイム

大量のだんごと格闘中!!



4年生

上手にできたよ♪

大成功!



1、2年生



6年生



5年生

ぼくたち  
おにぎり男子♪



パンタタカーに  
やられました…



料理長、  
お味は?

ぐ〜♪



3年生



11月3日（日）、塩屋小学校においてわくわく塩屋っ子タイムが行われました。

今年も大宜味村の4つのキーワードをテーマに1、2年生は貝がらアート、3年生はシークワサーを使ったお菓子作り、4年生は赤花だんごと芭蕉の皿づくり、5年生は豆腐を使った長寿食、6年生はパンタタカーと魚料理に挑戦。

地元の方々を先生に迎え、魚をさばいたり、ジュースを炊いたり、大量のシークワサーを搾ったり、様々な体験を通し、自然の恵みや先輩たちの教えを知ることができました。

たくさん用意された料理は…



あっという間にみんなのお腹の中へ

### 元気いっぱいの演技と優しい心遣いでお・も・て・な・し 津波小学習発表会

11月14日（木）、津波小学校体育館において学習発表会が行われました。

毎年3学期に行われていた発表会でしたが、今年度は3学期に学習に打ち込みたいという思いもあり、2学期の開催となりました。

平日の午前中という開催になりましたが、児童たちの勇姿を見ようと会場には保護者や地域の方々が集まりました。

6年生の伊波興真くん、上地明斗くんの「いしなく」で幕開けをし、「31人が心を一つに 成功させよう 学習発表会」という児童会テーマのもと、1年生から6年生までそれぞれが日頃の学習の成果を発表しました。



1、2年生はかわいい動物たちに扮し、太鼓や鍵盤ハーモニカの演奏、カエルの歌を輪唱したり、リズム遊びをしたり、少し照れながらも一所懸命自分の役をこなしました。

笑点のテーマ曲で愉快地登場した3、4年生。落語の「ぞろぞろ」をパートに分けて披露。扇子を上手に使ったり、身振り手振りしたり、一人一人が個性豊かに表現し、1つの話しを完成させました。



5、6年生はバスケットボールの技や試合を披露。ゴールにボールが入るたびに歓声があがりました。また、パワーポイントを使い、先日行われた修学旅行の思い出を発表。とても楽しかった様子が伝わって来ました。



見に来てくれて  
ありがとう!!

他にも三線の演奏や音楽・音読など様々なものに挑戦した児童たち。短い時間ながら内容の濃い発表会となりました。最後は児童みんなで列になってお客さんを見送り、笑顔いっぱいの学習発表会となりました。



### 先輩たちに学ぶ郷土のこ・こ・ろ

### 大宜味小学校 親子ふれ合い体験

11月9日（土）、大宜味小学校において地域の方々を先生に迎え、親子ふれ合い体験が行われました。

1、2年生は倉持有希さんのサンゴや貝がらを使ったランプシェードづくり、3、4年生は山川均さんによる流木や貝、ビー玉などを使った木工芸、総合学習で長寿の勉強をしている高学年は5年生が金城笑子さんを先生にクワージュージーづくり、6年生が平良澄子さんに教わる三月グァーシーづくりを親子で体験しました。



#### 家庭科室

美味しく揚げるからね～



男子も頑張る!!



#### 1、2年生教室

気分はアーティスト♪



#### 理科室



おいくなあれ～  
おいくなあれ～



姿勢もそっくり!?



みんなの憧れ  
バランストンボ

#### つどい室

二人は仲良し♪



慣れない作業に悪戦苦闘しながら頑張る子、子ども以上に熱中するお父さんお母さん^\_^; 楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は5、6年生が作ったジュージーと三月グァーシーをみんなで食べ、お腹も心も大満足♪になった1日でした。

### 芸術の秋… 大人から子供まで芸術家たちが大集合！ 第40回おおぎみ展

11月1日（金）～3日（日）、大宜味小学校体育館において第40回おおぎみ展が開催されました。

今年のオープニングも大宜味幼稚園の園児たちのエイサーとチャリダーで幕開けされ、園児たちの元気な姿に訪れた人たちも笑いと元気をもらいました。



プロから初心者まで多くの作品が集まるおおぎみ展。今年は塩屋小の児童たちの蝶の写真も展示され、それぞれの蝶の特徴がよく捉えられている作品に魅了させられました。他にもマーランガー団地の子どもたちでつくった漆喰シーサーや絵など子ども達の作品が光る展示も徐々に多くなっていました。

昭和49年度から始まり、40回目となる今年のおおぎみ展では、併行して昭和49年展も行われ、第1回目開催時の写真や当時の新聞記事、懐かしいレコードや雑誌なども展示され、「懐かしい。」「こんな頃もあったね～」という声が多数聞かれ、少しだけタイムスリップしたような気持ちが味わえました。

### 大切なのは「自分が楽しむこと♪」 ぶながやの里生涯学習講座

11月16日（土）、大宜味小学校つどい室において、今帰仁村読み聞かせワーキングチームの方々を講師に招き、第3回ぶながやの里生涯学習講座「誰にでもすぐ始められるよ・み・き・か・せ（読み聞かせ）」が開催されました。

朗読やパネルシアター、絵本の読み聞かせに引き込まれる参加者たち。生き生きとした話し方や表情に子どもに戻ったように楽しめました。まず自分が楽しむことが大切で楽しさは子ども達に伝わると教えてくれ、参加者たちも大型絵本の読み聞かせに挑戦。一人で読むのではなく、何名かで配役を決めて読むことで挑みやすく和気あいあいと楽しみながら読むことができました。



本日の講師、今帰仁村読み聞かせワーキングチームのみなさん。



パネルシアターに触れてみたり



みんなで大型絵本に挑戦！



メンバーのみなさんはさすがでした

### 大好きな大宜味村を自分の表現でピール♪ 喜如嘉小4年生公開授業

10月31日（木）、喜如嘉小学校体育館において地域教育資源活用事業に係る公開授業及び講演会が行われました。

公開授業では体育館に特設教室が設けられ、4年生の国語の授業が行われました。言葉を見直す「思わず行ってみたくなる新しい表現をつかって、大宜味村をピールしよう！」という単元で、自分の思いを込めた「新しい表現」を作って、多くの人に大宜味村の特徴を伝えるピール文を発表しました。



児童たちはシークワサーや芭蕉布、長寿、ぶながや、自然、文化など自分が「これぞ大宜味村の魅力」と思うものについて、音やにおいを使った言葉やここに住んでいるからこそわかる言葉で表現し、なぜ自分がこの内容についてアピールしようと思ったのか、なぜこの言葉を作ったのか、一緒に理由も述べました。

発表後には聞き手の児童たちが「この表現はとてもわかりやすかった。」「どうしてこの表現を使おうと思ったのか。」など感想や質問を伝え、発表者も一つ一つ対応していきました。

最後に役場企画観光課の安里瞬さんから「みんな様々な表現を使ってとても驚いた。たくさんの言葉を知ることによって表現の幅が広がるので、知ることがとても大切。」と講評してくれました。



### 学校・家庭・地域でそれぞれの役割をもって… 藤田晃之先生講演会

公開授業の後には、筑波大学の藤田晃之先生から「地域教育資源を活用した授業の在り方」と題し、講演会が行われました。

藤田先生は、子どもたち一人一人の今と将来の豊かな生活を実現させるために、学校がやるべきこと、家庭がやるべきこと、地域がやるべきことをわかりやすく教えてくれ、村の学力向上推進テーマソングである「ともだちの木」の歌詞について「とてもいい内容だ」と絶賛しました（夕方の放送時、よく歌詞を聞いてみて下さい）。

子ども達が今も、将来も幸せに暮らしていけることを想像して、家庭でも夢を語り合う時間を持ったり、時には「ともだちの木」を一緒に口ずさんでみたりしてはいかがでしょうか？



# 芸術の秋、スポーツの秋 大宜味っ子の活躍!!

「青少年の深夜はいかい防止」  
県民一斉行動に関する標語

## 県知事賞



喜如嘉小4年 山城秀剛くん

「帰ろうよ みんなが声かけ  
地域の輪」

「私たちの文化財」 図画作品

## 優秀賞



塩屋小3年 真喜志耀くん

## 入賞

喜如嘉小6年 福地嬉楽璃さん

九州小学校ソフトテニス大会

## 派遣



きじょっかーズ

福地嬉楽璃 & 高原咲輝ペア

山城 願 & 山城 心ペア

教育相談室だより

### テーマ「自然と教育の心理的関わりから夢実現へのヒント」

#### 「子どもが昆虫などを集めてくる」

大人（親、教師）の反応

##### 叱りつける

（集めるだけ、片付けをしない、死んでしまう等の理由で）  
=大人のエゴ

虫を集める=親に怒られる  
自己肯定感が低くなる  
虫から興味がなくなる  
好奇心を潰される  
自然に関心を持てなくなる  
ゲームやTVにしか興味がなくなる

##### 認める・共感する・受け入れる

（子どもの発達段階を受け入れる）

虫を集める=好きな事を受け入れてもらえる  
自己肯定感が高まる  
興味を持つことが増える  
好奇心が増える  
調べようになる（学習意欲が増える）

子どもが虫を集めてくることありませんか？そして最後まで育てずに放置して死なせてしまうこと。もしくは虫を殺すこと。それは決して悪い事とは限りません。人間のもつ本能的残虐性がそうさせるそうです。その残虐性を幼児期に経験することで、大人になってその経験からブレーキをかけることが出来るそうです。幼児期にそのような経験をせずに育った大人が残虐な事件を起こすやすいようです。大人は、子どもが虫や生き物に対して行う殺傷行為を「かわいそう」「ひどい」と思い強制的に止めさせがちですが、幼児期の子どもはそれを残虐だとは思わずに行動し、その行為をすることで、学び成長しています。（※だからと言って殺傷を肯定しているわけではありません）子どもの成長段階においてこれも一つの大切な経験です。決して叱らずに、子どもの興味に寄り添い受容してみてください。

「好奇心（生きる力）+ 自己肯定感（認める力）=夢実現

大宜味村地域生物多様性保全計画勉強会参考

教育相談員 前田悠嗣

ホッと

村内のホッと活動をご紹介します

## 大宜味人の する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

### 「ついに実現、小中連携授業」

10月23日（水）、津波小学校体育館で5、6年生13名と大宜味中学校男女15名の小中連携体育授業研（体育：バスケットボール）が行われました。

日頃、13名での体育に慣れている児童たち。2時間の事前授業では、身動き一つ取れず、まるでロボットのような動きになり、合同体育でも会話を交わしたりすることもなく、ポンポンとシュートを決める中学生に圧倒され、緊張と戸惑いの連続でした。淡々と時間が過ぎていき、ベルが鳴ると同時にホッとした様子が見られました。

研究授業本番では、グループ分けから始まり、班ごとに計画を立ててから練習開始。中学生が中心になり、パス練習をやっていく中で、子ども達もいつの間にか打ち解けたようで、練習中も会話を交わせるようになり、とても楽しそうにゲームをしている姿が印象に残りました。

連携授業を通して児童が、中学生の先輩達を身近に感じられた1時間になったと思います。

大宜味村内の中学校が統合して、早35年。その間一度も隣校間での合同の授業はありませんでした。これを機会に6年生が安心して中学校に入学できると思います。

この授業のきっかけは中学校の校内合唱コンクールを聞きに行ったことでした。普段はなかなか声を掛けることもできない中学生ですが、知っている3年生が堂々と指揮や伴奏をしている姿を見て、感動するとともに親しみを持つことができ、連携授業に繋がりました。

また、今回の授業を進めるにあたり、名護市の伊野波さんと「ランクアップ」の又吉さんからはバスケットリングを借用してもらいました。喜名正人先生を始めとする男子職員、大宜味中学校の体育教諭宮城研治先生にはリングの搬送、役場からは車を貸してもらいました。様々な方の協力により成り立ったものです。ありがとうございました。

最後に授業に参加してくれた大宜味中学校の男女の皆さん。皆さんの協力のお陰で、小中連携体育の授業研究も無事に終わることができました。本当にありがとうございました。



### 「花いっぱい！癒しの道路に…」



比嘉孝子先生（津波小前々校長）より、10ケースのマリーゴールドの苗のプレゼントがありました。孝子先生からは毎年苗のプレゼントがあります。

去年の台風で苗が全滅してしまったため、今年のマリーゴールドは学校で種から育てたものですが、2度にわたる台風の被害にあい、残念ながら学習発表会の時はマリーゴールドの花満開の校庭や正門で迎えることができませんでした。現在は枯れた花の間に頂いた苗を補足しながら植え替えをしています。

また、伊禮校長先生もインパチエンスの種をまき、すでに10センチ程に成長、移植をしています。

12月にはきれいな花で国道や校庭が埋め尽くされるでしょう、児童や保護者やドライバーたちにも癒しの花を見せたいです。

吉田春子



ドゥーチユムニー（独り言）

友寄景善

山あいの上原区に住んでいるので、海岸沿いに立地する根路銘区へは百メートルの落差を緩やかに下っていく。歩いて約二〇分で着く。活性化センターを見下ろし、遠方の古宇利、伊是名、伊平屋の島々を眺めながら進んで行くが、その眺めがとても美しい。夏場の穏やかな海は特に美しく、何時見ても感動する。その美しさは文章では到底表現できない。私たちは古来より、この美しい海と深く関りながら暮らし、生きてきた。海に糧を求め多くの家族をも養ってきた。交通機関が未発達の前時代には、海上交通に負うことも大きかった。何よりも海は私たちにとって身近な存在で、様々な恵みと潤いをもたらし皆が親しんできた。

必然的に海に関する伝統行事も多い。海の彼方の世界、ニライ・カナイから豊穡を招き安全を祈願するウングミ。アブシバレーや旧の三月三日に行われる浜ウリー等は、豊作や健康を祈る娯楽的色彩の強い行事でもある。七夕や葬祭等、神事においても海と深い関わりがある。このように私たちが住む地域は、古から海とは切っても切れない密接な関係にあるといえる。

海は楽しみも多い。気温が下がる冬場に向けては早朝、イカが浜辺に寄ってくる。ミジユンの大群も海岸近くに居つき、それを狙って大物のガーラも来る。潮干狩りや釣りでは、各人が有する秘密の穴場で得意とする獲物をゲットする。夜に行うイザイ漁では、クブシミやタコ類との出逢いも多い。浜辺ではレジャー、散歩、語らい等、憩いの場所としてよく利用されている。

海を活かし、海に生かされた私たちの暮らし。その恵まれた自然環境を、教育・文化・産業に今後とも活かさねばならない。命を育む海として上手く関わり合いながら。

本部町で開催された世界初の海の祭典、国際海洋博覧会。そのテーマであった『海―その望ましい未来』は、海洋民俗の進んで行く方向を示している。

今月の生きもの

オキナワアオガエル：アオガエル科

呼ばれて飛び出てじゃじゃじゃ〜ん♪

オッス、おらオキナワアオガエル！いかにもカエルって、感じの出で立ちだろ。鳴き声も「コロロ…コロロ…」って言って、カエルらしい声なんだ…。沖縄にいるカエルは特徴的なやつばかりだから、こんなカエルらしいカエルもある意味珍しいかな。暮らしている範囲も広いからみんなも見たことあるはず。つくづく、普通のカエル…。でも頑張ってるんだ！！



～編集後記～

あっという間に12月となりました。今年は富士山が世界遺産に登録されたり、オリンピックの招致も決まったり、じぇいじぇいな1年でした。残り少ない2013年。みなさん、やり残したことはありませんか？ 来年を気持ちよく迎えらるるように、やれることはやっしまししょう♪ で、いつやるの？ 今でしょ！！

12月の行事予定

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 2日（月） 区長会             | 12日（木） 修学旅行（大小）～13日   |
| 4日（水） 県学力到達度調査（4小）    | 14日（土） わんぱく体験団⑤       |
| 5日（木） 県学力到達度調査（大中）～6日 | 16日（月） 体験の翼事前学習会・保護者会 |
| 修学旅行（塩小）～6日           | 20日（金） 交通安全シークワサー作戦   |
| 6日（金） 生活発表会（幼）        | 21日（土） 生活発表会（塩保）      |
| 8日（日） 村成人スポーツ大会       | 23日（月） 天皇誕生日          |
| 9日（月） 標準学力検査 ～20日     | 25日（水） 終業式（幼・小・中）     |
| 10日（火） 大宜味中修学旅行 ～13日  | 27日（金） 官公庁仕事納め        |

